

令和元年度 安城市食育推進会議 議事録

日時：令和元年 7 月 22 日（月）

午前 10 時 00 分から 11 時 30 分まで

場所：市役所本庁舎 3 階 第 10 会議室

■出席者

市民公募

浅田 奈津子

安城市民生・児童委員協議会 副会長

岡田 初夫

愛知学泉短期大学付属幼稚園長

岡本 富子

衣浦東部保健所管内栄養士会 会長

落合 典子

安城市小中学校 P T A 連絡協議会 副会長

日下 律子

安城市食育健康づくりの会 会長

黒柳 厚子

安城市小中学校長会 代表 明祥中学校校長

近藤 邦子

安城市農業委員会 会長職務代理者

榊原 貴榮子

名古屋文理大学 健康生活学部 教授

中村 麻理

市民公募

成瀬 早苗

市民公募

原田 英雄

安城市社会福祉協議会 事務局長

早川 孝一

アピタ安城南店 店長

深津 将博

エコネットあんじょうくらし部会 会長

古居 敬子

愛知県西三河農林水産事務所農業改良普及課 課長

堀田 行敏

安城市子育て健康部長

小笠原浩一

安城市教育振興部長

早川 智光

安城市産業振興部長

武智 仁

■欠席者

J A あいち中央 代表理事専務

杉山 厚

■議題内容

- (1) 名古屋文理大学との協働事業について
- (2) 平成30年度公開行政レビューの結果について
- (3) 第3次安城市食育推進計画指標の進捗状況について
- (4) 平成30年度食育に関する取組実績と令和元年度の取組予定について

- 事務局 定刻前ですが、皆様お集りいただきましたので始めさせていただきます。
進行を務めます農務課農政係沓名です。よろしくお願いいたします。
安城市ではクールビズを実施しております。職員は軽装で参加しておりますがご理解をお願いいたします。
なお先ほどスクリーンで上映しました映像は昨年度作成しました「食育・農業プロモーション映像」です。Y o u T u b eでもご覧いただけますので是非ご覧ください。それでは、只今から安城市食育推進会議を開催いたします。
会議の開催にあたり、黒柳会長よりごあいさつをお願いいたします。

- 黒柳会長 皆様おはようございます。会長の黒柳でございます。昨年に引き続き会長を務めさせていただきます。よろしくお願いいたします。
さて、本年6月に農林水産省より公表された食育白書では、「健康寿命の延伸につながる食育の推進」として特集がされていきました。これによると平均寿命と健康寿命の増加率を比較したところ健康寿命の増加率が上回るという結果でした。健康寿命には食生活が大いに関係していることがわかっており延伸の為には、私たちの食育の取組が大変重要になっていると感じました。また、国が進める第3次食育推進計画指標の進捗状況では、若い世代での朝食の欠食率やバランスのよい食事の摂取割合などが低い水準となっており、今後の取組として若い世代への健康的な生活のアプローチが大変重要と思われます。こういった課題にたいして生産者、消費者、企業、市民団体、教育、行政がそれぞれの分野でそれぞれの視点で活発なご意見をいただくとともに、会議の円滑な進行にご協力賜りますようよろしくお願いいたします。

- 事務局 ありがとうございます。
本日まで出席いただいております委員の皆様につきましては、お手元に配布いたしました名簿をご覧ください。
なお、平成31年4月以降の人事異動より委員の交代があります。本来であればお一人ずつご挨拶をいただくところですが、お時間の都合もありますのでお名前のみご紹介させていただきます。名簿番号3番岡本委員、5番日下委員、7番近藤委員、13番早川委員、14番深津委員、17番小笠原委員、

18番早川委員、19番武智委員です。なお、新たに委員に就任された方へは後ほど委任状をお渡ししますのでよろしくお願いいたします。

また、本日の会議は、番号9番の杉山委員より欠席のご連絡をいただいております。

●事務局 それでは、議題に入らせていただきます。

本会議の議長は、本会議の設置要綱第6条の規定により、会長が務めることとなっておりますので、黒柳会長に議長をお願いいたします。

●議長 それでは、「(1) 名古屋文理大学との協働事業について」を説明願います。

事務局より概要説明、中村委員よりアンケート結果の説明

●議長 ただいま説明がありました議題1に関してご質問がありましたらご発言願います。

●原田委員 アンケートのとり方について、直接保護者の方にお会いして聞いたのですか。

●事務局 今回の方法は、保育園を通じて郵送でアンケートを実施しました。

●原田委員 アンケート結果の数字だけでなく、直接聞いた声を取組にも反映してもらいたい。

●古居委員 私が所属する団体でも、講座後にアンケートをお願いしています。回答としては、「忙しい」「簡単にできる料理を知りたい」「食品をあまりなく使いたい」などありますので、アンケート結果を元に内容を考えて実施しているところです。

●成瀬委員 つい先日テレビで手作りの冷凍食品で残さず、捨てずに食べるという話をしていました。そういった講座も効果的なのではと思いました。

●議長 それではご質問も無いようですので、「議題1 名古屋文理大学との協働事業について」異議はありませんか。

●委員一同 異議なし。

●議長 ありがとうございます。異議なしと認めます。よって本件は了承されました。次に「(2) 平成30年度公開行政レビューの結果について」を議題とします。事務局より説明をお願いします。

事務局説明～

●議長 ただいまの議題2について、ご質問がありましたらよろしくお願いいたします。

●古居委員 地産地消についてですが、日本の状況や世界の状況を踏まえて、フードマイレージの問題、環境の問題を伝えていく必要があるかと思います。

●榊原委員 先ほどの中村先生のアンケートにもありましたが、行政や団体が講座をやっている、知らないでも知っていたら参加したいという声があるという事だと思います。本当にPRはとても難しいと思います。でも広報等を工夫して情報発信できるといいと思います。参加した人から口コミで広がっていくことにも期待したい。この会議でも何かいい案があれば今後のPR方法として考えていくことも大切だと思います。

●落合委員 社員食堂について少しお話をさせていただきます。社員食堂というのは安く

ておいしいものをという部分をクライアントから要望があって提供している部分があります。なかなか地場の野菜を使うことが難しいのも事実です。地産地消のイベントも実施していますが、なかなか商品として野菜メニューは売り上げが低いという部分もあります。魅力的なメニュー開発など努力していきたいと思います。

食堂委託会社としては、クライアントからの要望があれば実施ができる部分も大きくありますので、皆様から声を上げていただきたい、行政からもご依頼いただければと思います。

- 原田委員 委員の中にも農業に携わっている方がお見えになると思いますが、農業といっても草取りとか、正直楽しい部分は少ない。大変な仕事です。農業体験の本当の意味を考えてもらいたい。目的別で取組を検討していただけたらと思います。農業を支えている人の高齢化、数年後には担い手が激減する可能性がある。そういった根本的な部分にも注目してもらえればと思います。
- 浅田委員 情報提供の部分ですが、私たちのグループでもアンケートを取ると口コミ、友達からの誘いが多いです。参加者から広めてもらう事もとても大切だと思いました。食品ロスの取組も行っていますが、活動が難しいと感じています。フードバンクの話も出ますが、市民団体だけの活動では実行しきれない、企業や行政と一緒にやれると継続は力なりとなると思っています。子ども食堂や高齢者向けの食堂の話も出ていますが、うまく食材を使って継続してやれると良いと思います。
- 古居委員 生業としての農業は本当に色々な課題があると思いますが、市民団体が行う農業は自給自足を目指していく、食育を伝えていくことが大切だと思います。若い農業の担い手も活躍していける場を作っていくべき。
- 榊原委員 農業のあり方は色々あると思います。古居さんの活動はそれはそれで素晴らしいと思います。農業を生業にしている者としては、子どもたちに農業の大切さを知ってもらう事だと思って活動しています。物を作るだけでなく、環境を守っているんだよということ、農作業大変だから、いやいやさせるのではなく、農業は大変だけれどみんな頑張っているんだよ、という部分を農業をやっていない親子へ伝えていくことがここにいるメンバーの使命として大切なことではないかと感じています。
- 堀田委員 皆様のご発言にあったとおり、農業って素晴らしいということが、重要だと感じております。この食育に関して申し上げますと、安城市が進めるケンサチという部分では、根本にある家庭での会話とか、会話のある食事をしているかが大切なのではないかと思います。会話を楽しみながら食卓を囲むことがいかに大切か、また知らない分野への興味を引き出す、魅力を上手にPRしていくことで食育の啓発に繋がっていくと思います。
- 議長 私も食育の活動をしておりますが、文理大学のアンケートや皆さんの活動の話を聞き、データがはっきり出ましたので、皆さんの今後の活動に活かしていけたらと思います。

それでは、他にご意見も無いようですので、議題2について了承することに

ご異議ございませんか。

●委員一同 異議なし。

●議長 ありがとうございます。異議なしと認めます。よって本件は了承されました。次に、議題3「第3次食育推進計画指標の進捗状況について」事務局説明願います。

事務局説明～

●議長 ただいまの議題3について、ご質問がありましたらお願いいたします。

●浅田委員 eモニターアンケートとありますが、現在のeモニター何人いるのか、年齢等を教えていただきたい。

●事務局 eモニターアンケートは昨年度11月に行いました。回答者数は1046名でした。うち女性が688人、男性378人となっております。年代につきましては一番多く締めているのが40代50歳代となっております。

●成瀬委員 農作業や農業体験を行った人の割合がありますが、これは収穫体験だけの数値ですか。

●事務局 項目としては、農作業を現在行っている人、農作業をしたことがある、体験講座に参加したことがある方を集計した結果となっておりますので、体験だけではなく、実際に農作業を現在行っている方も割合には含まれております。ただし、どのような農作業を行ったのか、どの程度行ったのか詳細は確認できませんので今後アンケートのとり方等検討してまいりたいと思います。

●古居委員 私たちの田んぼの講座の人数は含まれていないようですが、それを含めるとすごい人数になってしまいますが、これから報告したほうがよいですか。

●事務局 団体の取組は資料4に全て掲載しております。こちらの指標になっているものは市が支援した（報償金をお支払いした）事業となっております。

●議長 今学校で行う生活学習や幼稚園保育園でも食育に力を入れて取り組んでいるかと思うので、そちらも議題4でご紹介いただけたらと思います。それでは他にご意見ございませんか。無いようですので、議題3について了承することにご異議ございませんか。

●委員一同 異議なし。

●議長 異議なしと認めます。よって本件は了承されました。次に議題4「平成30年度食育に関する取組実績と令和元年度取組予定について」事務局より説明願います。

事務局説明～

●議長 ただいまの説明についてご質問がありましたらご発言願います。

●原田委員 事務局が考える地産地消とはどの程度の地域や範囲を考えているのか教えてください。

- 事務局 一番大きな部分は安城市の総合計画にもうたっておりますが、フードマイレージの部分と考えております。地のものを地元で消費する、地元の新鮮で安全安心な農産物を消費するという部分もあるかと思います。確かにお住いの地区によっては地元の概念が変わってくることと、全てを安城市産で賄うことは難しいと思いますので、J Aあいち中央管内産を目安に考えております。
- 議長 ありがとうございます。
他にご意見ございませんか。無いようですので議題4についてご異議ございませんか。
- 委員一同 異議なし。
- 議長 異議なしと認めます。よって本件は了承されました。
以上で議題は終了ですが、議題以外でもご意見がありましたらご発言願います。
- 早川委員 社協事務局長の早川でございます。指標の結果についてで一つ確認ですが、基準値と目標と実績の数値の算出方法にばらつきがあるのではないかと思いますが、最終年はどのように算出されるのか。
- 事務局 基準値は市民アンケートを基に算出しております。実績値はeモニターとなっております。中間年はあくまでも参考値としてご覧いただければと思います。早川委員が言われた通り算出方法にばらつきがありますが、最終年は市民アンケートを元とします。
- 古居委員 市民団体が実施する講座でとるアンケートを農務課へ集約するのはいかがでしょう。
- 事務局 是非アンケートの集約行ってまいりたいと思いますので、ご協力いただける団体さんへお願いしたいと思います。
- 議長 他にございませんか。特にないようなので以上で本日の議事は終了いたします。委員の皆様、本当に今日はありがとうございました。
- 事務局 議事の取り回し、ありがとうございました。次に「3 その他」について、事務局より連絡いたします。事前に送付しております、本会議の報酬に関する書類ですが、会議終了後事務局までご提出をお願いします。また、本日も提出できない場合も事務局までご連絡ください。なお、冒頭お伝えしたプロモーション映像教育編はお時間の都合上後日皆様のお手元でご覧いただけるようにさせていただきますので、よろしく願いいたします。それでは、これをもって令和元年度安城市食育推進会議を終了といたします。長時間ありがとうございました。